

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 視覚教材を活用し、刺しゅうの基礎理解を深める
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	刺しゅうの基礎(手づくりコースターの制作)
	授業の目標	・刺しゅうに必要な道具の確認や扱い方を理解する。 ・簡単な刺しゅうのステッチの基礎を理解する。 ・同じ班の友達に教えるなど、協力して活動する。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	■「知識・理解」 ■「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 ■「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 ■高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第2学年 20人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 ■情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) ■ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	■見る ■聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 ■不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 ■社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・初めて行う活動に対して、消極的になることがある。 ・自分でできることが分かったと、興味をもって意欲的に取り組むことができる。 ・言葉による説明よりも、視覚教材を用いた説明の方が理解しやすい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	①デジタルビデオカメラ ②テレビ ③AVケーブル ④針、糸
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・刺しゅうの縫い方や細かい手先の動かし方を確認し、制作活動に取り組む。
授業に授業者展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	・指導者の手元をビデオで写し、テレビに映しながら、刺しゅうの基礎縫いの仕方や手の使い方について説明する。
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・手元の動かし方を大きな画面で確認することにより、興味をもって制作活動に取り組むことができた。 ・生徒の様子を見ながら、画面で刺しゅうの縫い方を繰り返し確認することにより、縫い方を覚えることができた。